

2020年8月15日

## 戦後75年の終戦の日にあたって（談話）

国民民主党代表 玉木雄一郎

本日、75回目の節目の終戦記念日を迎えました。

先の大戦では多くの方が戦場で斃れ、一般国民も原爆、空襲、沖縄戦などの戦禍に巻き込まれ尊い命を落としました。また、終戦後も、異国での抑留中や、原爆や傷病の後遺症で亡くられる方も多くいました。ここに、すべての犠牲者の方々に衷心より哀悼の誠を捧げます。

今日の日本の平和と繁栄は、戦争によって命を落とされた方々の尊い犠牲と、戦後の辛苦に耐え復興の道を歩んでこられた先人のご努力の上に成り立っています。こうした先人たちへの敬意と感謝を忘れず、平和で豊かな日本を維持・発展させて参ります。

また、憲法の平和主義に則り、不戦の誓いのもと、戦後75年間、日本が歩んできた道は世界に誇れるものだと確信しています。私たちは、昭和、平成と引き継いできた戦争の惨禍の教訓と恒久平和の願いを風化させることなく、令和の世代へと語り継いで参ります。

今日では国家間の戦争だけでなく、テロをはじめとした新しい紛争の脅威が出現しています。国民の安全や平和を守るための備えを万全としつつ、我が国の平和主義、民主主義を守り、発展させるため、あらゆる努力を払っていくことを国民の皆様にお誓い致します。